

試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないでください。

令和8年度 第10回しらかわ検定

1級 問題冊子

(問題数50問 試験時間50分)

注意事項

- 試験中は受験票、筆記用具、時計（通信機能のないもの）及び飲み物（水筒、ペットボトル等）以外は全てかばん等にしまってください。
- 携帯電話はマナーモードにするか、電源をお切りください。
- 問題冊子は、25ページあります。印刷が不鮮明であったり、ページが不足していたりする場合や、解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて係員にお知らせください。ただし、問題に関する質問にはお答えできません。
- 問題は択一問題と記述式問題です。
 - 択一問題の解答は、解答用紙の1から4の数字のうち、正答と思われる番号一つに丸を付けてください。例えば【第1問】に対して「1」と解答する場合は、次の（例）のように解答用紙に丸を付けてください。

（例）

第1問	①	2	3	4
-----	---	---	---	---
 - 択一問題の解答で解答用紙に正しく丸が付けられていない場合や二つ以上に丸が付いている場合は、不正解とします。
 - 記述式問題の解答は、楷書で書いてください。漢字・ひらがなのいずれで解答してもかまいません。ただし、漢字の誤記及びカタカナは不正解とします。
- 不正行為を行った場合は、その時点で受験を取りやめ退室していただきます。
- 不明な点がある場合や、体調不良やトイレでやむを得ず席を立つ場合は、手を挙げて係員にお知らせください。

【第1問】

旧石器時代の遺跡について、まちが間違っているものはどれですか。

- ① 代表的な遺跡は、白坂地区にある一里段A遺跡である
- ② 福島県文化財センター白河館(まほろん)の造成中に偶然発見された
- ③ 貯蔵用と考えられる土器が発見されている
- ④ 白河市において、確認できる最も古い人類の痕跡である

【第2問】

縄文時代の遺跡について、正しいものはどれですか。

- ① 白河市の北部に集中して遺跡が分布している
- ② 町屋遺跡から、規模の大きな倉庫跡が見つかっている
- ③ 南堀切遺跡では、新潟県で産出される翡翠が出土している
- ④ 九州・関西地方の特徴を持つ土器が発見されている

【第3問】

東北地方南部における弥生時代後期の土器編年の基準資料となっている土器群が出土した遺跡はどれですか。

- ① 下黒川遺跡
- ② 滝ノ森B遺跡
- ③ 舟田中道遺跡
- ④ 天王山遺跡

【第4問】

表郷地域の高木と三森に所在し、古墳時代中期では東日本最大とされる祭祀遺跡を何といいますか。

【第5問】

下総塚古墳について、間違っているものはどれですか。

- ① 埋葬施設に横穴式石室をもつ前方後円墳である
- ② 東北地方において確認されている後期古墳では最大規模である
- ③ 周構内から、土偶が多く出土している
- ④ 地方豪族である「白河国造」の墓と考えられている

【第6問】

奈良・平安時代の白河について、()に当てはまるものはどれですか。

白河は、陸奥国白河に位置づけられ、その中心となった役所（群衙）は、泉崎村関和久に、寺院は五箇地区の()に建てられた。

- ① 高木 ② 舟田 ③ 借宿 ④ 上小屋

【第7問】

南北朝時代の武将である結城宗広について、正しいものはどれですか。

- ① 北朝側の武将として各地を転戦し、功績を挙げた
- ② 下総結城家も含めた結城一族の惣領となった
- ③ 阿部野の合戦で討ち死にした
- ④ 宗広の墓は、白河市の常宣寺を含め全国に5か所存在する

【第8問】

次の文章の（ ）に当てはまるものはどれですか。

大^{たい}信^{しん}下^{しも}小^こ屋^やの隈^{くま}戸^ど川^{がわ}左^さ岸^{がん}の丘^{きゅう}陵^{りょう}に築^{きず}かれた（ ）館^{たて}跡^{あと}は、白河
領^{りやう}の北^{きた}部^ぶを抑^{おさ}える拠^{きよ}点^{てん}として戦^{せん}国^{ごく}時^じ代^{だい}にかけ^かて次^し第^{だい}に城^{しやう}域^{いき}が拡^{かく}大^{だい}した
姿^{すがた}と考^くえら^れる。

- ① 富^{とみ}沢^{ざわ} ② 高^{こう}野^や ③ 天^{てん}王^{のう} ④ 新^{しん}地^ち山^{やま}

【第9問】

白^{しら}河^{かわ}結^{ゆう}城^{きやう}家^けの氏^{うじ}神^{がみ}として重^{じゅう}視^しされ^れた鹿^{かし}嶋^{まぐう}宮^{ぐう}（現^{げん}・鹿^{かし}嶋^{まじん}神^{じゃ}社^{しゃ}）の別^{べつ}当^{とう}寺^じ（神^{しん}社^{しゃ}
を管^{くわん}理^りす^する寺^じ院^{いん}）の名^な前^{まえ}は何^{なに}で^ですか。

- ① 聯^{れん}芳^{ぼう}寺^じ ② 長^{ちやう}寿^{じゆいん}院^{いん} ③ 龍^{りゅう}蔵^{ぞう}寺^じ ④ 最^{さい}勝^{しやう}寺^じ

【第10問】

中世の白河の寺院について、間違っているものはどれですか。

- ① 小峰寺は、結城親朝が父の供養のために搦目城（白川城）の西に創建したと伝えられている
- ② 小峰寺は、天皇と深い関わりがあったと考えられ『白河風土記』に「格別の由緒」があると記されている
- ③ 大統寺は、馬町にある臨済宗の寺院で、結城顕朝が父を弔うため造立したと伝えられている
- ④ 大統寺が所蔵している「木造釈迦如来坐像」は、鎌倉で造られ白河に運び込まれた像とみられている

【第11問】

中世の連歌師・飯尾宗祇が白河関を越えた感慨を詠んだ句について、次の文章の（ ）に当てはまるものはどれですか。

都出し 霞も風も けふみれば （ ） なき空の 夢に時雨れて

- ① 果て ② 跡 ③ 雲 ④ 色

【第 1 2 問】

筆跡まで忠実に写すために筆写（袋文字）で書かれている、広瀬蒙斎が

白河結城家に関する各地の古文書を複写し、編さんしたものはどれですか。

- | | |
|-----------|----------|
| ① 白河結城家文書 | ② 白河古事考 |
| ③ 白河紀行 | ④ 白河証古文書 |

【第 1 3 問】

次の文章の（ A ）と（ B ）に当てはまる組み合わせはどれですか。

白河結城家の（ A ）は、8つの郡・荘・保にまたがる（ B ）に任じられ、白河だけでなく周辺領地に強い影響力を持っていた。

- | | |
|----------|--------|
| ① A：結城親朝 | B：検断職 |
| ② A：結城親朝 | B：修理大夫 |
| ③ A：小峰朝脩 | B：検断職 |
| ④ A：小峰朝脩 | B：修理大夫 |

【第 1 4 問】

しらかわ ゆ う き け
白河結城家の最後の当主であった結城義親は、しらかわ りょうち ぼっしゅう
白河などの領地を没収され
た後、だれの家臣になりましたか。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| ① とよとみひでよし
豊臣秀吉 | ② とくがわいえやす
徳川家康 |
| ③ お だ のぶなが
織田信長 | ④ だ て まさむね
伊達政宗 |

【第 1 5 問】

しらかわはん
白河藩について、正しいものはどれですか。

- ① 白河藩成立前のあいづりょう
会津領時代の約 4 0 年間、白河はがもうけ いっかん
蒲生家が一貫し
てしはい
支配していた
- ② れきだいはんしゅ
歴代藩主のうち、最もこくだか
石高が高かったのはほんだけ
本多家の 1 2 万石である
- ③ 白河藩はばくまつ
幕末まで、7 家 2 1 代の大名が藩主を務めた
- ④ 白河藩のはんしゅ に わ ながしげ
初代藩主は丹羽長重で、最後の藩主はあべまさのり
阿部正権である

【第 16 問】

白河藩^{しらかわはん}の領地^{りょうち}変遷^{へんせん}について、次の文章の（ ）に当てはまるものはどれですか。

寛保元年^{かんぽう}（1741）の転封^{てんぽう}により、それまでの白河藩領^{しらかわはんりょう}の約半分が（ ）領^{りょう}となり、それ以降白河藩領は、白河周辺^{はな}と離れた場所という形が幕末^{ばくまつ}まで続いた。

- ① 村上藩^{むらかみはん} ② 高田藩^{たかだはん} ③ 桑名藩^{くわなはん} ④ 姫路藩^{ひめじはん}

【第 17 問】

下記に当てはまる場所は、何という通称^{つうしょう}と呼ばれていますか。

- ・江戸時代^{えど}に白河藩歴代藩主^{しらかわはんれきだいはんしゅ}の菩提寺^{ぼだいじ}が置かれた場所である
- ・白河藩主松平直矩^{しらかわはんしゅまつだいらなおのり}・基知父子^{もとちか}らの墓^{はか}が所在^{しよざい}する
- ・明治時代に池の改修^{かいしゅう}などが行われ、公園として整備^{せいび}された
- ・現在も市街地に残された数少ない公園として、市民の憩い^{いこ}の場となっている

【第 18 問】

こみねじょう
小峰城について、正しいものはどれですか。

- ① やぐら・門・蔵などの建物の図面である「丹羽家在城図」は、当時の
城を実測して作った
- ② まつだいらさだのぶ松平定信が約4年をかけて、強固な石垣造りへの大改修を行った
- ③ ぼしんせんそう戊辰戦争で落城したため、二之丸・三之丸には江戸時代の痕跡がわ
ずかしか残っていない
- ④ こみねじょうあと小峰城跡に、そうえんちょう総延長約10kmにわたりいしがき石垣が存在している

【第 19 問】

こみねじょう いしがき
小峰城の石垣に用いる大量の石材が切り出され、ちくじょう築城工事の安全を祈願し

た神社がふもとに建てられた白河市内の山の名前は何ですか。

- ① らかんやま羅漢山 ② いなりやま稲荷山 ③ こまるやま小丸山 ④ らいじんやま雷神山

【第20問】

平成3年（1991）に復元された、小峰城の中心となる最も規模が大きい
櫓は何ですか。

【第21問】

奥州街道（奥州道中）について、正しいものはどれですか。

- ① 奥州街道は、古代から幹線道路だった東海道にほぼ沿って整備されたものである
- ② 江戸時代の奥州街道は、正式には大田原から白河までの街道を指す
- ③ 大名や幕府役人が白河に宿泊する際は、田町の「旅籠」が使用された
- ④ 慶長9年（1604）から寛永年間までの数十年間だけ、石阿弥陀に現存する一里塚を通る道を奥州街道として使用していた

【第22問】

奥^{おうしゅうかいどう}州街道の芦^{あし}野から白^{しら}河^{かわ}までの道のりが長く、人馬^{おうらい}の往来に苦勞が多かつたため、豊臣秀吉^{とよとみひでよし}の命令により作られたとされる宿場は何ですか。

【第23問】

寛政6年（1794）の松平定信^{まつだいらさだのぶ}の参勤交代^{さんきんこうたい}について、間違^{まちが}っているものはどれですか。

- ① 江戸^{えど}を出発^{しゅつぱつ}する際^{さい}、見送^{みおく}りに来た人々と酒^{さけ}を酌^{しやく}み交^かわした
- ② 草加^{そうか}で供^くの者^{もの}と名物^{めいぶつ}の鰻^{うなぎ}を食^くべた
- ③ 定信^{ていしん}は、小金井^{こがねい}の慈眼寺^{じげんじ}の山門^{さんもん}の額^{がく}を自^{みづか}ら模写^{もしや}した
- ④ 宇都宮^{うつのみや}に着^きくと、明神^{みょうじん}（二荒山神社^{ふたらさんじんじや}）に参詣^{さんけい}した

【第 2 4 問】

近世の街道について、まちが間違っているものはどれですか。

- ① あいづかいどう 会津街道は、さ ど きんざん 佐渡金山の金ゆ そうの輸送や会津藩あいづはんの物資輸送ぶつしゆそうに利用されていた
- ② たなぐらかいどう 棚倉街道の道筋みちすじの家々は、ぼ しんせんそう 戊辰戦争の際に、おううえつれっぽんどうめいぐん 奥羽越列藩同盟軍・しんせいふぐん 新政府軍の双方そうほうの宿 営しゆくえいにされた
- ③ いしかわかいどう 石川街道は、「しらかわかいどう 白河街道」とも呼ばれ、こ だい 古代の遺跡群や中 世いせきぐんの城ちゅうせい じょう かんあと 館跡などが見られる街道である
- ④ み と かいどう 水戸街道は、東 地域ひがしを南北にじゅうかん縦 貫して、会津あいづと水戸み とを結んだ奥州街道わきみちの脇道である

【第 2 5 問】

みなもとのよしつね 源 義経が奥 州 おうしゅう 平 泉 ひらいずみ へ向かう途中とちゅうに立ち寄り、あまりの絶景にその名を付けたという伝説が残る、たいしん 大信地域の隈戸川くま どの がわ上流に広がる景勝地けいしょうちは何ですか。

【第26問】

奥州街道沿いの町屋は、敷地の間口が狭く、奥に長い短冊状の作りですが、その理由として正しいものはどれですか。

- ① 街道に面した間口の広さに応じて税金が課される仕組みになって
いたため
- ② 街道沿いにできるだけ多くの店舗や住居を配置するため
- ③ 冬の厳しい寒風が建物内に吹き込むのを防ぎ、防寒性を高めるため
- ④ 火事の延焼を防ぎ、被害を最小限に抑えるため

【第27問】

次の文章の（ ）に当てはまるものはどれですか。

文化6年（1809）に越後高田藩の飛領を支配するための陣屋が釜子
に移され、その後、奉行に赴任した（ ）が、子どもの養育資金の支給
や生活苦難者へ資金を貸し与えるなどの政策を行った。

- ① 松平定賢
- ② 榊原政永
- ③ 八木伝五郎
- ④ 吉田林右衛門

【第28問】

むつのくにしらかわりょうふうぞくといじょうこたえ
「陸奥国白川領風俗問状答」に記録されている白河藩の町や村に伝わる
風習について、間違っているものはどれですか。

- ① 正月に年徳神、田の神、家で祀っている神や先祖に鏡餅を供え、
4日の朝に供えた餅は雑煮にした
- ② 6月朔日に、小峰城の地下に残っている氷を城下に売り歩いた
- ③ 9月9日に、赤飯に栗を入れ、菊花の熨斗包みを添え親族と相互に
贈答した
- ④ 12月朔日は「川ひたり餅」といって、城下町の店が家臣の屋敷に
餅を売り歩いた

【第29問】

まつだいらさだのぶ はんし ぶげい かんせい
松平定信が、藩士の子息全員に学問や武芸を学ばせるため、寛政3年（1
791）会津町に設立した藩校はどれですか。

- ① 敷教舎 ② 時習館 ③ 日新館 ④ 立教館

【第30問】

まつだいらさだのぶ まつだいらさだのぶ 松平定信の産業の振興 しんこう について、(A) と (B) に当てはまる組み合わせはどれですか。

きょうとにしじん きょうとにしじん 京都西陣から職工 しよっこう (A) を招き、(B) の子女 まね に織物 おりもの の技術 ぎじゆつ を学ばせた。

- ① A : 相谷氷壺 さがやひょうこ B : 下級藩士 かきゅうはんし
- ② A : 相谷氷壺 B : 農家
- ③ A : 泉源右衛門 いずみげん えもん B : 下級藩士
- ④ A : 泉源右衛門 B : 農家

【第31問】

まつだいらさだのぶ まつだいらさだのぶ 松平定信が築造 ちくぞう した庭園 ていえん について、築造した年代順に並べた正しい組み合わせはどれですか。

A : 南湖 なんこ B : 浴恩園 よくおんえん C : 三郭四園 さんかくしえん D : 六園 りくえん

- ① A → C → B → D ② B → C → A → D
- ③ C → A → D → B ④ D → A → C → B

【第 3 2 問】

身分の上下なく平等に語り合うという松平定信^{まつだいらさだのぶ}の理念^{ひょうげん}が表現されている、
南湖^{なんこ}に建てられた茶室は何ですか。

【第 3 3 問】

南湖十七景^{なんこじゅうななけい}について、正しいものはどれですか。

- ① 松平定信^{まつだいらさだのぶ}が、「鏡^{かがみ}の山^{やま}」についての和歌と漢詩^よを詠んだ
- ② 17の景勝地^{けいしょうち}は、南湖^{なんこ}を訪^{おとず}れた人々の投票で選ばれた
- ③ 定信が17の景勝地の各所^{かひ}に歌碑を建てた
- ④ 「南湖名勝図^{なんこめいしょうず}并^{ならびに}詩歌^{しいか}」の名勝図を描^かいたのは、白河藩^{しらかわはん}絵師^{えし}の星野^{ほしの}
文良^{ぶんりょう}である

【第34問】

まつだいらさだのぶ
松平定信が関係する白河市内の石碑や扁額について、間違っているものは
どれですか。

- ① 関山の満願寺旧山門に残る碑の「下馬」の字は定信の筆によるものと伝わっている
- ② 妙閑寺の扁額は、「八」の字が鳩が二羽並んだように見えるため「鳩八幡」といわれている
- ③ 長らく不明となっていた白河関の場所を考証し、旗宿に古閑蹟碑を建立した
- ④ 結城宗広・親光父子を顕彰する磨崖碑を造るにあたり定信が「感忠銘」の三字を揮毫した

【第35問】

いなりやま
稻荷山のふもとにある、戊辰戦争後まもなく地元新町の人々によって建
立された碑の「戦死墓」の文字を書いた人物は誰ですか。

- ① 阿部正脩（秋風） ② 西郷頼母
- ③ 松平容保 ④ 新島八重

【第36問】

松尾芭蕉^{まつおばしょう}が詠んだ白河^よに関連する句について、間違っているものはどれ^{まちが}ですか。

- ① 風流^{ふうりゅう}の 初^{はじめ}やおくの 田植^{たうえ}うた
- ② 関守^{せきもり}の 宿^{しゅく}を水鶏^{くいな}に とはふもの
- ③ 袖^{そで}にみな 時雨^{しぐれ}を関^{かん}の 山路^{さんろ}かな
- ④ 早苗^{さなえ}にも 我色^{わしき}黒き 日数^{ひかず}哉

【第37問】

松尾芭蕉^{まつおばしょう}が境^{さかい}の明神^{みょうじん}を経て旗宿^へに宿泊^{はたじゆく しゆくはく}した日に訪れた、桜^{さくら}の名所としても知られる場所はどこですか。

【第38問】

次の文章の（ A ）、（ B ）、（ C ）に当てはまる組み合わせはどれですか。

須賀川^{すかがわ}の（ A ）の家に生まれた（ B ）は、松平定信^{まつだいらさだのぶ}に才能を見出され、（ C ）を研究し、独自の手法^{どくじ}を開発した。

- ① A：酒屋 B：蒲生羅漢^{がもうらん} C：銅板画^{どうばんが}
- ② A：酒屋 B：亜欧堂田善^{あおうどうでんぜん} C：写真
- ③ A：染物屋^{そめものや} B：蒲生羅漢 C：写真
- ④ A：染物屋 B：亜欧堂田善 C：銅板画

【第39問】

松平定信^{まつだいらさだのぶ}の家臣^{たにぶんちよう}の谷文晁^{やふみさ}について、間違^{まちが}っているものはどれですか。

- ① 江戸時代後期^{えど}の日本画家で「徳川時代の三大家^{とくがわさんたいか}」に数えられる
- ② 『集古十種^{しゅうこじしゅ}』『古画類聚^{こがるいじゅう}』の編さん^{へん}に携わ^{たずさ}っている
- ③ 白河^{いしろう}だるまの意匠は、文晁が考えたと言われている
- ④ 白河町民^{いらい}の依頼を受け、『絹本著色受苦図^{けんぼんちゃくしよくじゅくず}』を無償^{むしょう}で描いた

【第 4 0 問】

明治^{めいじ}4 年（1 8 7 1）の廃藩置^{はいはんちけん}県^{けん}の前に、現在の福島^{ふくしまけんいき}県域において、すでに
成立していた県は「白河^{しらかわけん}県」と「若松^{わかまつけん}県」のほかに、次のうちどれですか。

① 平^{たいらけん} 県

② 福^{ふくしまけん} 島 県

③ 二^{にほんまつけん} 本 松 県

④ 磐^{いわさきけん} 前 県

【第 4 1 問】

学^{がくせい}制^{せい}が発^は布^ふされた翌^{よくねん}年^{ねん}の明治^{めいじ}6 年（1 8 7 3）に、白河^{しらかわ}地^ち域^{いき}で最^{そう}初^{りつ}に創^{そう}立^{りつ}し
た小^{しょう}学^{がく}校^{こう}はどこですか。

① 番^{ばんざわ} 沢

② 関^{せきべ} 辺

③ 双^{くらべいし} 石

④ 町^{まちや} 屋

【第42問】

明治時代の白河の近代産業について、間違っているものはどれですか。

- ① 本町にある旧白河宿本陣の建物に、白河ではじめて西洋医学に
基づく近代病院が開業した
- ② 白河町外への郵便料金は、ハガキ1枚が1銭、封書は2銭であった
- ③ 元白河藩士の岩淵兵之右衛門が、本町通りで岩淵製糸の操業を
始めた
- ④ 白河電燈株式会社が創立され、白河市の立石山に水力発電所が建
造された

【第43問】

昭和7年（1932）10月に行われた白河の馬市で取引された馬の産地で、
北海道に次いで2番目に多かったのはどの県ですか。

- | | |
|-------|-------|
| ① 青森県 | ② 岩手県 |
| ③ 宮城県 | ④ 栃木県 |

【第 4 4 問】

次の文章の（ ）に入る言葉は何ですか。

明治 6 年（1873）に奥州街道は（ ）街道に改称された。

明治 17 年（1884）になると、白河の街中から分岐し、西郷村を經由して栃木県に至る原方街道が、新（ ）街道（現在の国道 4 号）に改称された。

【第 4 5 問】

松平定信に深い敬意を抱き、定信の伝記『楽翁公伝』の編さんに尽力し、南湖神社の建立のための募金活動に協力していたことで知られる実業家はだれですか。

【第46問】

きんげんだい しらかわ かつやく
近現代の白河で活躍した文化人とその業績の組み合わせとして、正しいものはどれですか。

- ① せきねしょうじ 関根正二 — 「馬の画家」として名をあげた
- ② やました 山下りん — フランス人形作家として活躍した
- ③ たかはしゆいち 高橋由一 — かいしゅう 改修道路の写生のため白河を おとず 訪れた
- ④ なかやまぎしゅう 中山義秀 — りゅうがく ロシアに留学し、アイコン制作に しゅうがいの 生涯を 捧げた

【第47問】

めいじ
明治14年(1881)に明治天皇が とうほく 東北・ ほっかいどう 北海道を じゅんこう 巡幸した時に、しゆくはく 宿泊・
きゅうけいしょ
休憩所として利用した場所はどれですか。

- ① たいこやぐら 太鼓櫓
- ② めいじきねんかん きゅうにししらかわぐんやくしよ 明治記念館 (旧西白河郡役所)
- ③ しょうふうていら げつあん 松風亭羅月庵
- ④ きゅうわきほんじんやなぎや 旧脇本陣柳屋

【第48問】

次の文章の（ A ）と（ B ）に当てはまる組み合わせはどれですか。

提^{ちょうちん}灯まつりは町内ごとに組織され、大世話、中世話、若世話などに分かれた（ A ）と、若衆^{わかしゅう}による（ B ）により編成^{へんせい}される。

- ① A：元方^{もとかた} B：先達^{せんだつ} ② A：元方 B：壮者^{そうしゃ}
③ A：宮本^{みやもと} B：先達 ④ A：宮本 B：壮者

【第49問】

白河だるま市について、正しいものはどれですか。

- ① 明治初期にだるまが中心的な売り物になったことから、「だるま市」
の名称^{めいじょう いっぱんか}が一般化した
② 中町にある市神様^{なかもち いちがみさま}の仮屋^{かりや}で「鹿嶋神社神楽^{かしまじんじやかぐら}」が奉納^{ほうのう}される
③ 横町^{よこまち}と田町^{たまち}で「どんど焼き^や」と呼ばれる火祭り^よが行われる
④ 現在、白河だるまを製作^{げんざい}している店舗^{せいさく}は5店舗あり、いずれも同じ
デザインである

【第50問】

次の文章の（ ）に入る言葉は何ですか。

関^{せき}辺^べの「さん^{さん}じ^じも^もさ^さ踊^{おど}り」は、白河の代表的な「（ ）念^{ねん}仏^{ぶつ}踊^{おど}り」で、
太陽^{たいやう}の正^{せい}常^{じやう}な運^{うん}行^{ぎやう}と害虫^{かいしゆ}の防^{ぼう}除^{じよ}などを念^{ねん}じて五^ご穀^{こく}豊^{ほう}穰^{じやう}を祈^き願^{がん}するもので
ある。

